

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3491500181		
法人名	医療法人 紅萌会		
事業所名	グループホーム 春		
所在地	福山市港町1丁目15番30号		
自己評価作成日	平成22年11月	評価結果市町村受理日	平成23年5月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html">http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	福山市三吉町南1丁目11-31-201		
訪問調査日	12月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣には、公共施設や大型スーパー、商店などがあり、利便性が高く、外出の機会を持てる場所です。医療面でも福山記念病院が協力病院であり、介護老人保健施設が併設しており、24時間緊急時の対応ができます。職員は、ご入居者、家族の方の気持ちを考えケアにあたるよう情報の共有を大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

商業地帯の一角にある老人保健施設・デイサービスを併設した建物の三階と四階にあり、老人保健施設とは廊下続きで災害時の避難経路となっている。室内は明るく居室の入り口にはほのぼのとした本人の似顔絵を表札代わりに飾り温かく微笑ましい。日頃は利用者の個々の特性を活かし季節の飾り付けや、食事の準備・後片付け等を職員と共にすることで、張り合いのある生活となっている。又排泄の自立支援に向け二人介助を行う等トイレでの排泄への支援に力を入れている。職員育成については外部研修や併設の施設との多方面の合同勉強会を行っている。更にレポート提出することで全職員が内容を周知できるよう図られている。利用者の健康管理については協力医療機関などの提携により十分な対応となっていて本人・家族が安心できる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念、方針は掲げられているが、地域密着にさらに力をいれたい。	法人理念の「医療と人との触れ合い」と共に、独自の理念として「その人らしく地域の中で暮らせる」を掲げて、日々のケアに取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事参加への声掛け、隣の公園を利用させて頂いた際など、挨拶などから交流を深めていけるよう努めている。	町内会には加入していないが、事業所として清掃活動等、積極的に参加したり、中学生のチャレンジワークの訪問がある。また避難訓練等には町内会長の参加や夏祭り、ボランティアの受け入れ等も行われている。	町内会長の協力を得て民生委員や老人会長と連携を取り、事業所行事や勉強会等に地域の方の参加を呼び掛けられ、様々な面での関係作りを築かれることに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	独自には、地域の方への勉強会などは行っていないが、これからの課題として、取り入れていきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	8月より、2ヶ月に1回の開催にて計画し、町内会長、民生委員、行政、包括支援センター、職員、入居者の方の参加の下、現状報告や行事報告を行い、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議は利用者の日常を理解してもらうため生活の場で各分野の参加のもと定期的に開催している。日常の現況報告等を行い、出された意見等は、検討されサービスに活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	8月より、2ヶ月に1回の開催。困難事例等の相談をさせていただくよう努めている。	運営推進会議や介護保険申請時等に関わり、また日常ではないが困難事例等状況に応じて相談をし協力関係を築くようにしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。3、4階の事業所のため、エレベーター使用となっているが自由に出入りできる。一人ひとりの状態を把握し、声かけ、把握を行っている。	職員は、法人内の勉強会等に参加して身体拘束をしないケアについて正しく理解出来ている。日頃、日中は開錠していて、不測の時には声かけや見守りにより対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の勉強会へ参加にて、学ぶ機会を持ち、職員の意識をしっかりと持つようになっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っているが、参加できない職員もあり、後日、記録の確認にて対応しているが、全員の把握は得られていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご利用者、家族の方が納得され、疑問点などにお答えし、理解、了解を得られてからのご入居としている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中にて、意見がでた場合は、すぐに話し合いを行い、反映させてケアにあたれるようにしている。	意見箱を設置しているが、直接本人や家族の訪問時に声かけをして要望を聞いたり、電話等でも聴いている。利用者・家族からの意見など其々の思いを受け入れケアに繋げている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全体会議、勉強会を行い、意見交換の場を設け、記録を行っている。	月1回全体会議で、職員の意見や提案を聴く機会を設け、意見交換が行われている。不安な事や悩み等言いやすい環境である。会議録も取り反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修へは出来るだけ参加している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約時に、家族の方からの情報、ご本人よりの要望にお答えできるように、信頼関係作りを大切に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時から、ご要望をお聞きし、信頼関係が築いていけるよう職員との情報の共有を行い、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族の方と話し合い希望されるサービス又は、ご本人に必要とされるサービスを利用して頂けるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々のコミュニケーション、炊事の仕方について入居者の方から、職員へ指導頂く場面があり、生活の時間を大切にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	報告、相談を行い、家族の方、入居者の方にとって良い方法を考えケアにあたっている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方のご協力もあり、馴染みの場所への外出も増えつつある。	具体的に行きたい場所等の声が余り上がって来ない。日頃、大型スーパー等買い物や食べたい所への支援は行われている。ご家族の協力で馴染みの場所に行かれる方もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの入居者の方の性格も合わせ、困難な場合は、職員が間に入り、コミュニケーションがはかれるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人の希望、家族関係も含め、ご相談を臨機応変に行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中にて、又はアセスメントや職員の情報共有にて、個々に合った暮らしを送って頂けるよう努めている。	センター方式でのアセスメントを参考に本人・家族に思いや意向を聴いて把握している。日頃の生活の中で食事中や何気ない会話の中で職員の積極的な声かけにより利用者の意向を引き出しケアに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時、又は、以後の生活の中にて、ご本人、家族の方よりの話などで把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送り、サービス担当者会議などにて、情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人ひとりの入居者の方へ担当者を決め、より深くご本人に合った介護計画を作成できるよう会議を行い作成している。	担当者がアセスメントを行い、ケアマネジャーが会議で主治医を交え話し合い計画を立てている。更にモニタリングを行い、見直しは月に1度または3ヶ月ごとに行い現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	言葉、仕草などの記入も行き、カンファレンス、申し送りにて、統一ケアができるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別リハビリ、電気治療、受診等、ご本人、家族の方よりの希望に沿ったケアにあたるよう、主治医との連携などで取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事には、ボランティアの方の協力を得ている。消防訓練では、消防署の協力を得ている。チャレンジウィークには、中学生が来られた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に一度、訪問診療あり、体調不良時には、連絡し、対応している。	毎週1回、定期的な往診があり、薬の管理や情報交換が出来ている。歯科の通院も家族や職員が対応し支援されている。緊急の場合でも、協力医療機関との連携が築かれて居るので、本人・家族は安心出る。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	老人保健施設の看護師による、定期健康管理もあり、夜勤帯でも、相談し、連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換を密に行い、記録も行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時、説明を行い、家族の方も意識を持っておられるが、様態の変化に沿って、医師も交えて話し合いをし、情報を共有している。	看取りについては利用開始時に家族の同意を貰っている。現状では医師との連携により助言や情報交換をし共有した対応を行っている。また職員は、関係者と共に今後も取り組む体制となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会を行っているが、日頃より危険予測も合わせて、ケアを行っていきたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練、火災訓練を行っている。	年2回防災訓練を実施し、スプリンクラーの設置もある。避難場所は外階段や隣接の老人保健施設となっていて、手作りのスロープを使う等して訓練を行っている。地域に向けての働きかけが今後の課題である。	災害に向けて、運営推進会議等で議題にされたい。町内会長の協力を得て実践を想定した防災訓練等に地域の方の参加をお願いし、協力体制が築かれるよう期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、言葉遣いや対応の仕方について、職員同士意見を出し合っている。	職員はプライバシーポリシーについて事業所独自の勉強会を行い周知している。日頃の言葉かけや対応も職員間で注意をし、利用者の尊厳を傷つけない支援を行っている。個人情報管理も正しく行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	信頼関係を大切にし、自己選択、決定して頂けるような雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	状態の把握にて、ペースにあわせたケアが提供できるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容師の方に来て頂き、ご本人の希望のカット、パーマ、毛染めなど行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ、味見、準備、片付けなど職員と行き、一緒に食事を摂ることで、ゆっくりとした時間をとれている。	要望により献立を決め、利用者は下ごしらえや味見もされ、片付け等出来る方は職員と共に手伝いをされている。食事と一緒に同じものを食べて居られ、ゆったりとして楽しい物となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない方には、医師に報告し、補助食品等利用し、家族の方の協力も得ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態にあった口腔ケアを行っているが、昼食後は、拒否される方もおられ声かけの工夫が課題である。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとり排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄できるよう声かけを工夫、布パンツへ変更などしている。	チェック表でパターンを把握しトイレでの排泄に向け努めている。状況によっては二人介助をする等し排泄の自立支援に力を入れている。おむつから布への成功例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給に気をつけ、個々に応じて、乳製品の摂取などを取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間帯は業務の都合で決めているが、声かけを行い、入浴希望される時に入浴できるよう心がけている。	体調に合わせて、利用者の希望を優先した入浴となっている。基本午前中の中の入浴で、2日に1度の割合となっている。拒否の方は、家族の協力を得たり声かけ等によるチームプレーで週2回は入浴されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに合った生活ペースで対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の効能書きで確認し、理解できるよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活履歴などご本人や家族の方に聞きながら、その人らしい生活が送れるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的には行えていないが、買い物希望の方には職員と1対1にて対応している。希望があった時には、家族の方の協力もあり、自宅への外出など行っている。	車の都合で、3、4階は別行動での外出支援となっている。色々な行事の帰り等外食したり、弁当持参で外出し職員共々気分転換を図っている。希望者には趣味の材料購入等の買い物支援を行っている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望される方には、持って頂いている。買い物での支払いは介助が必要である。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと希望があった時は、ダイヤルを回すことのみ介助している。手紙は、1名出される方がおり、出す介助をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレには芳香剤設置、温度調節、日差しには、カーテンにて対応し、意見が出た時にすぐ対応が出来るよう心がけている。季節感を出すために、花や野菜などを植えている。	共用空間は見通しが良く明るくて清潔である。ベランダには、野菜が植えてあり、季節を感じる。浴室には、緊急呼び出し用が設置されている。其々の居室の表札替わりの人情味あふれる似顔絵は訪問客を和ませている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでテレビを観られたり、ゆっくり話をされたり、テラスの花をみられたり、廊下奥で外を眺められたりされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の方の協力、意見を頂き、個々にあった物を置いて頂いている。	居室には備え付けのクローゼットや洗面台がある。使い慣れた物品の家具やドレッサー、テレビ等持ち込んで写真や花を飾り、居心地良く過ごせている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室には、手すりが設置しており、個々の機能に応じた使い方をしている。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念は把握しているが職員一人一人がとらえ方が違う	職員一人一人が同じ気持ちで理念を目標としてケアに当たる	日々理念を頭に入れふりかえり考える。定期的に理念について勉強会を行う。	6カ月
2		運営推進会議を定期的に行っているも家族の方の参加が少ない	年に行う6回の中で半分は家族に参加頂けるようにする	年間計画を家族にお伝えして参加して頂けるよう声かけを行う。	6カ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。